

学校法人福岡保健学院 学校関係者評価

評価実施日 平成29年3月29日

福岡和白りハビリテーション学院 理学療法学科(昼)

大項目	評価項目		学校関係者評価 総合評価	学校関係者評価委員会意見 課題及び課題解決に向けた提案
教育理念・目的・人材育成像	学校の教育理念・目的・人材育成像が定められているか？	福岡保健学院の建学の理念である「人間愛と自己実現」を掲げ社会に貢献できる医療人の育成を目指した教育活動が行われている。本学院では「手に技術 頭に知識 心に愛を」を教育理念に掲げ、対象者の立場で思考することのできる専門職の育成を目指し教育を実践している。このことは、講師会議や臨床実習指導者会議において関係者に周知している。また、教育理念・目的・人材育成像については、学生便覧・シラバスへの掲載及び学内掲示を行っている。学生・保護者に対しては入学時オリエンテーションや保護者説明会において説明し理解を得よう努めている。	3.7	教育理念に基づき教育活動が行われているが、学生にそれを理解浸透させることが重要である。そのためには、教職員の一貫した取り組みが必要である。
	学校の理念目的育成人材像など学生及び保護者、学校関係者に周知されているか？			
	各学科の教育理念・目的・人材育成像は医療・福祉のニーズに方向づけられているか？			
学校運営	目的に沿った運営方針、事業計画が策定されているか？	学校運営にあたっては事業計画を作成し、学校法人理事会にて承認を受けている。事業計画には、法人全体の方針や方向性、組織が示され、それに基づいた意思決定システムにより、本学院の運営方針、事業計画、意思決定を適切に行っている。学内では、運営会議、全体会議、学科会議のほかにも国家試験・入試広報・教育課程の委員会を定期的継続的に実施し、学校の年度の学校管理目標を設定し、適正な学校運営の実施に努めている。情報のシステム化については、学事システムによる学生ポータルサイトを活用した学生連絡を導入している。データや学生伝達等、より効果的かつ効率的な情報管理運用システムの検討が必要と思われる。	3.8	現状に即した事業計画を作成し、教職員への周知を図る努力がされている。組織が大きくなると意思決定システムが見えにくくなるので、全職員が事業計画を理解し学校運営に当たることが重要となる。情報システムについては、IT化は十分ではなく、学生と教員とのコミュニケーションツールの検討が望まれる。
	運営組織や意思決定機能が規則等において明確にされているか？			
	情報システム化等による業務の効率化ははかられているか？			
教育活動	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか？	社会に貢献できる人材育成のため、理学療法士・作業療法士育成の5校が協働し教育課程編成を行い、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーも共有している。なお、詳細部分の教員周知徹底ならびに講師や実習指導者の意見を含めた到達レベルの設定・教授内容の検討は、産学連携を念頭に入れ積極的に進めていく必要がある。職業実践に関しては、医療・福祉施設の協力のもと段階的な実習を取り入れ、実習の進め方、指導法、評価まで法人独自に工夫・開発したもので実施している。授業評価は、授業終了後に授業評価アンケートを実施しており、理学療法士・作業療法士を養成する5校のアンケート結果を分析し問題の共有を図っている。教員の教育力向上については、教育研究大会や学会等の参加を促すとともに、法人でリハビリテーション5校での教育研修を年2回実施している。今後はさらに、教育力向上のため授業開改革や、体系化された教育活動の取組が望まれる。	3.9	学生の授業評価アンケートから授業改善するシステムが必要。また、教育力アップのため教員間の授業評価も重要。教育課程編成については、教員全体への周知が必要である。
	職業実践教育の視点に立ったカリキュラム・教育方法の工夫・開発が行われているか？			
	医療・福祉における職業実践教育が体系的に位置づけられているか？			
	授業評価の実施体制はあるか？			
学生指導	学生相談及び就職相談に関する体制が整備されているか？	学生相談に関しては、担任制度を取り定期的な面談及び必要に応じた面談を実施している。また、心理的問題を抱える学生に対してはカウンセラーと連携して問題解決に当たっている。カウンセラーは週2回で予約制で面談を実施している。就職相談は、学生全体に対し求人票のパソコン閲覧システム及び学生WEBによる新着情報の伝達を行うとともに、就職ガイダンスを開催し就職活動の指導を行っている。また、個別の面接指導及び履歴書の指導に当たっている。学生の安全管理規定に基づき、指導を行っている。問題が生じた場合は運営会議を開催し協議を行い、その改善に努めている。学生を危険から守るため、交通安全講習、薬物乱用防止講習などを実施している。学年ごとの保護者オリエンテーションを開催し学生の学習状況の周知を図るとともに、遅刻欠席や学業不振の学生に関して保護者との面談をその都度実施している。	3.8	最近メンタル面の弱い学生が増えてきている。カウンセラー体制の検討や教員が一体となり相談しやすい体制作りを行い学生の心身の不調に対して早急な察知や対応ができるように努めてほしい。
	学生の生活指導及び安全管理に関する体制が整備されているか？			
	高校や保護者と連携した取り組みが行われているか？			
学修成果	就職率が良好であるか？	①就職率 国家試験合格者の就職率は開校以来100%となっている。 ②退学率留年率の推移 退学率 平成26年度 昼間コース(4.23%) 平成27年度 昼間コース(6.75%) 平成28年度 昼間コース(6.01%) 留年率 平成26年度 昼間コース(5.93%) 平成27年度 昼間コース(2.53%) 平成28年度 昼間コース(3.24%) ③国家試験合格率 平成26年度(94.9%) 平成27年度(90.3%) 平成28年度(98.9%)であり全国平均を上回っている。 100%を達成できるよう教育活動及び国家試験対策の改善が必要である。	3.7	1年時より学習支援を行い、退学・留年の低減及び国家試験合格に向けた取り組みが実施されている。国家試験合格率及び就職率は良好であるが、退学率・留年率の課題は残る。退学の理由を検証し教育活動に反映させる必要がある。また、初年次教育の在り方については、今後とも検討していくことが重要。卒業生への支援は個別的には実施されているが、卒業教育等についても今後検討してほしい。
	退学率・留年率の低減しているか？			
	国家試験合格率が良好であるか？			
	卒業生の社会での活躍を評価し、教育活動の改善に活用されているか？			
教育環境	学内の教材及び教育環境改善に向けた取り組みが行われているか？	教育施設・設備・機器は定められた設置基準及び関連法規に適合しており、定期的な自己点検を行っている。教材は、毎年自己点検をおこない、必要に応じて新たな教材を整備している。開校10年であり、施設の改修を実施している。今後は、視聴覚教材など教育成果を向上させるための教材の検討が望まれる。臨床実習については、実習指導教員が週1～2回臨床実習病院に行き、指導者との情報交換や学生指導を実施する体制をとっており、安心して実習を行える環境となっている。防災は、防災組織を作成し年1回の訓練を実施している。	3.8	教育環境は特に臨床実習環境改善が図られているが、教材の充実が必要。最近、イメージ力の弱い学生も多いため模型や視覚教材などイメージを喚起しやすい教材を増やしてはどうか。防災については、防火訓練が主体であり、学生に防災意識を喚起するような教育も必要だと思う。
	臨床実習における環境改善の取組が行われているか？			
	防災に関する体制が整備されているか？			
学生募集	高等学校等に対し適切な情報提供が行われているか？	過大な広告を行わず適正な資格取得及び就職状況などの情報を正しく伝えている。入学選考については募集要項に明示しており適正な入学選考を行っている。また、各種媒体、入学案内、各種ガイダンス、オープンキャンパス、ホームページを活用し教育内容を正しく理解していただくよう努めている。修学支援制度としては、特待生制度を設けるとともに、金融機関と連携し低金利の教育ローンを提供している。	4	適正な募集活動が行われている。少子化により学生数減少に伴い学生確保が困難になることが予想されるため、専門職の魅力及び学校の魅力を適切に学生に伝える方法の検討が望まれる。
	資格取得・就職状況等の情報を正確に伝えているか？			
	修学支援制度があるか？			
財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか？	毎年、事業計画に基づき予算が作成されている。財務は法人本部と各学校の財務の2重体制をとっており、学校の財務体制管理が行われている。また、決算及び予算について理事会で承認されており、会計監査は適正に実施されている。	4	適正かつ健全に運営されている。
	予算・収支計画は妥当であるか？			
	会計監査は適切に実施されているか？			
法令遵守	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか？	法令遵守は、法人全体で取り組まれており、次の調査等においてチェックを行っている。①自己点検自己評価②学校基礎調査③専修学校各種学校評価④学校施設認定規則に基づく報告個人情報保護に関しては法人全体の規定を設けており、教職員及び外部講師・学生が遵守すべき事項が定められている。臨床実習における学生の個人情報保護については、SNSの取り扱いも含め指導を徹底している。	4	法令遵守は適切に行われている。その結果を公表していくことで、学生にとってもコンプライアンスの重要性を示すことにつながると思う。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか？			
社会貢献・地域貢献	学校施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか？	学校施設は、理学療法士協会主催の研修や、臨床実習施設等が実施する研修等に活用されている。また、教員の職能団体へ参画など社会貢献を行っている。学生ボランティアに関しては、地域の障害児者施設・高齢者施設・老人会などのボランティア情報の掲示をおこなっているが、推奨及び支援体制は整っていない。障がい者社会生活の貢献のため、就労支援事業所に昼食(弁当・パン)の販売を委託している。	2.8	医療人の資質として社会貢献・地域貢献は必要なものであり、学生時代の経験は貴重なものである。ボランティア等の推奨だけでなく、その参加学生などの実績を含め学校として把握したほうが望ましいと思う。またボランティア活動への学校の支援体制も検討してほしい。
	学生のボランティア活動を推奨、支援しているか？			